

(別紙5)

整理番号 2020P-029  
補助事業名 2020年度モーターサイクル競技の普及促進及び競技力の向上に資する補助事業  
補助事業者名 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

各種モーターサイクル競技会の円滑な運営と競技規則、マナーの徹底を図る。また、上級クラスを目指す上昇志向の競技者や永く生涯スポーツとして楽しんでいる競技者の為に、様々な嗜好に沿った競技種目やクラスを設定し規則化することにより、老若男女問わず一人でも多くの方がモーターサイクルスポーツに関心を持つことや、競技会への参加意欲を掻き立て、愛好者の増大やモーターサイクルスポーツ界全体の活性化を目指す。

### (2) 実施内容

(<https://www.mfj.or.jp/other/about/subsidized-project/subsidized-project-2020/>)

#### ①2021年度版国内競技規則書の作成

2020年度の競技会シーズンの半期と全日程終了時点で種目毎にWEB委員会を開催し、競技会で発生した諸問題や競技参加者の動向、推移分析、検討を行い現規則の見直しや新規則を作成する。また、国際規則の変更に伴う照合も行う。2019年11月末までに検討された競技規則を網羅した2021年度版国内競技規則書を25,000部作成し、当会全会員はじめ施設、関係者、関連企業等に発送する。また、当会ホームページにも規則の全文を掲載し、一般の方にもいつでも見られるようにし広くモーターサイクルスポーツへの関心度、理解を高める。

モーターサイクル競技の一例



■ロードレース競技



■トライアル競技

※その他モトクロス/スノーモービル/スーパーモト競技/エンデューロ競技/モトジムカーナ競技等多岐にわたる。

(別紙5)

## ②普及イベント用車両の購入

12歳～15歳代の小学生高学年・中学生のMFJロードレースアカデミー使用講習用車両に適した大きさの車両が日本国内では販売されておらず、タイ国生産車両の150ccの排気量の車両を輸入輸入しましたが、同排気量ながら前使用型より車両が大型化しておりシート幅も広がっていることから小学生高学年・中学生低学年生だと足つき性が悪く、停止時や低速時に転倒が懸念されアカデミースクールでの使用が難しいことが判明した。

アカデミースクールでの使用を取りやめ、一般の大人を対象としたスクール等の普及イベント内でのレンタル車両として使用することとしました。

## 2 予想される事業実施効果

### ① 2021年度版国内競技規則書の作成

作成した規則書により、より競技会の公平性、安全性の向上が高まり、円滑な運営とモーターサイクル競技の普及促進が期待される。

### ② 普及イベント用車両の購入

大人の普及イベント用車両へ事業内容を変えたことにより、筑波サーキットを使用してスクール・スポーツ走行に多くの予定で使用することができることになった。レース未経験者の中からモータースポーツに興味を持ち協会の新規ライセンス会員者が出てくることが期待される。

## 3 補助事業に係わる成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

#### ① 2021年度版国内競技規則書 (B5版 全472頁 冊子)

([2021\\_.indb\(mfj.or.jp\)](http://2021_.indb(mfj.or.jp)))



2021年度版競技規則書表紙

(別紙5)

②普及イベント用車両の購入 (ホンダCBR150R 10台)



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会  
(ニホンモーターサイクルスポーツキョウカイ)

住 所： 〒104-0045  
東京都中央区築地3丁目11番6号築地スクエアビル10階

代 表 者： 会長 鈴木 哲夫 (スズキ テツオ)

担 当 部 署： 管理部 (カンリブ)

担 当 者 名： 部長 小川 達夫 (オガワ タツオ)

電 話 番 号： 03-5565-0900

F A X： 03-5565-0907

E - m a i l： [ogawa@mfj.or.jp](mailto:ogawa@mfj.or.jp)

U R L： <http://www.mfj.jp/>